

第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間評価について

平成30年3月に「保健事業実施計画」と「特定健康診査等実施計画」を一体化した「第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定しました。計画期間は、平成30年度から令和5年度までの6年間とし、医療費分析、特定健康診査及び、特定保健指導などの現状から見えてきた健康課題を解決するため「重症化予防の取組」、「特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上対策」、「がん対策」、「自己啓発の促進」に関する各種事業を実施しています。

令和元年度までの事業進捗状況等をまとめ評価し、今後の計画目標達成のため事業内容等を見直します。

1.現状

①町の比較【図表1関係】

平成28年度と令和元年度を比較すると全国で問題となっている少子高齢化が例外なく進んでいます。また、平均余命は男女とも1.2歳、平均自立期間（日常生活動作が自立している期間）は男性1.4歳、女性1.6歳と延び、平均余命と平均自立期間の差では、男性△0.2歳、女性△0.4歳となり自立して日常生活できる期間が延びています。

図表1：町の人口

項目	平成28年度	令和元年度	比較
① 人口総数（人）	18,273	18,323	50
② ～39歳（％）	44.2	42.5	△1.7
③ 40～64歳（％）	33.5	33.9	0.4
④ 65～74歳（％）	12.4	12.6	0.2
⑤ 75歳～（％）	9.9	11.7	1.8
⑥ 平均余命：男性（歳）	79.8	81.0	1.2
⑦ 平均余命：女性（歳）	86.0	87.2	1.2
⑧ 平均自立期間：男性（歳）	77.6	79.0	1.4
⑨ 平均自立期間：女性（歳）	82.8	84.4	1.6
⑩ 平均余命と自立期間との差：男性（歳）【⑥－⑧】	2.2	2.0	△0.2
⑪ 平均余命と自立期間との差：女性（歳）【⑦－⑨】	3.2	2.8	△0.4
⑫ 高齢化率（％）	18.6	22.2	3.6
⑬ 出生率（人口千対）	10.0	9.4	△0.6
⑭ 死亡率（人口千対）	8.3	7.0	△1.3

②国民健康保険の比較【図表 2 関係】

被保険者数は、経済・社会情勢の変化により 612 人減少しています。町人口に占める加入率は 3.5 % 減少の 22.7%、平均年齢は、1.4 歳上昇の 49.9 歳となっています。

総医療費は、被保険者数の減少に伴い減少しています。また、一人当たり医療費は 19,978 円減の 303,891 円 ($\Delta 6.16\%$) となっていますが、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合の増加に伴い、被保険者に占める生活習慣病患者割合も増加しています。

図表 2 : 被保険者及び医療費等

項 目	平成 28 年度	令和元年度	比較
① 被保険者数 (人)	4,736	4,124	$\Delta 612$
② ~39 歳 (%)	32.6	29.9	$\Delta 2.7$
③ 40~64 歳 (%)	32.2	32.2	0.0
④ 65~74 歳 (%)	35.2	37.9	2.7
⑤ 被保険者加入率 (%)	26.2	22.7	$\Delta 3.5$
⑥ 被保険者平均年齢	48.5	49.9	1.4
⑦ 総医療費 (千円)	1,508,907	1,223,467	$\Delta 285,440$
⑧ 1 人当たり医療費 (円)	323,869	303,891	$\Delta 19,978$
⑨ 総医療費に占める生活習慣病費用割合 (%)	58.2	57.0	$\Delta 1.2$
⑩ 被保険者に占める生活習慣病費用割合 (%)	43.4	45.1	1.7
⑪ 特定健康診査受診率 (%)	35.2	36.4	1.2
⑫ メタボリックシンドローム該当者の割合 (%)	17.2	20.3	3.1
⑬ メタボリックシンドローム予備軍の割合 (%)	9.4	11.7	2.3
⑭ 特定保健指導利用率 (%)	63.8	79.6	15.8
⑮ 特定保健指導終了率 (%)	47.6	67.3	19.7

2. 中間評価

①当初計画目標【図表3関係】

計画の達成すべき目的・課題を解決するための目標は図表3のとおり定め各種事業を実施しています。事業の現状を把握し、内容の変更、改善等を行います。

図表3：目標値

達成すべき目的	課題を解決するための目標
①医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率 60%以上
	特定保健指導終了率 70%以上
	特定保健指導対象者の割合の減少率 25%
②脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療に占める割合 1.3%減少
	虚血性心疾患の総医療費に占める割合 1.6%減少
	人工透析導入者の総医療に占める割合 0.3%減少
③脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム該当者の割合の減少
	メタボリックシンドローム予備軍の割合の減少
	健診受診者のⅡ度高血圧の割合の減少 (160/100以上)
	健診受診者の脂質異常症者の割合の減少 (LDL180以上)
	健診受診者の糖尿病の割合の減少 (HbA1c6.5以上)
	糖尿病の未治療者(中断含む)の減少 (対象：特定健診受診者)
	糖尿病治療中のコントロール不良者の減少 (対象：特定健診受診者)
④がんの早期発見・早期治療	がん検診受診率 胃がん 30%以上
	がん検診受診率 肺がん 50%以上
	がん検診受診率 大腸がん 30%以上
	がん検診受診率 子宮がん 20%以上
	がん検診受診率 乳がん 40%以上
⑤自己の健康に関心を持つ住民が増える	健康ポイントの取り組みを行う実施者の割合 1%以上【町総人口に対する】
⑥後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合 80%以上

②事業実施状況【図表4関係】

各項目の目標の達成に向けた状況は、図表4のとおりです。

①医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により重症化予防対象者を減らす項目では、b. 特定保健指導終了率 70%以上は、達成する年度もあり改善されています。一方で、a. 特定健診受診率 60%以上は、微増しているが受診率は目標値を大きく下回っています。また、c. 特定保健指導対象者の割合の減少率 25%は、達成した年度もありますが、令和元年度は大きく減少しています。

②脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症による透析の医療費の伸びを抑制する項目では、課題を解決するための目標全てが改善されています。

③脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす項目では、課題を解決するための目標全てで悪化しています。被保険者の高齢化が影響しているものと思われます。

④がんの早期発見・早期治療の項目では、課題を解決するための目標全てで変わりがありません。

⑤自己の健康に関心を持つ住民が増える項目では、平成 30 年度より清流の国ぎふ健康ポイント事業に参加しています。当初目標値を達成しています。

⑥後発医薬品の使用により、医療費の削減の項目では、各年度 10 月診療分を比較しています。目標達成に向けて使用割合は上昇しています。

③今後の事業の取組・見直し【図表5関係】

今後の事業の取組・見直しについては、図表5のとおりです。

基本的に現状の事業を継続し実施してまいります。有意義な事業は、計画期間中であってもその都度検討し、事業を見直します。

今後は、自身の健康に興味をもち平時から健康維持に取り組んでいただけるように、情報発信に努めてまいります。

図表4：実施状況

評価 A：改善している B：変わらない C：悪化している D：評価困難

達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値				中間 評価	事業実施状況
		H28年 2016	H29年 2017	H30年 2018	R1年 2019		
①医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により重症化予防対象者を減らす	a. 特定健診受診率 60%以上	35.2%	36.1%	37.0%	36.4%	B	未受診者に電話勧奨及び40歳代を対象としてはがき勧奨を実施しています。また、糖尿病・高血圧・脂質異常症の通院者を対象とし、情報提供事業を実施しています。 保健指導対象者に合わせて、日時・場所などを調整して実施しています。
	b. 特定保健指導終了率 70%以上	47.6%	61.7%	81.7%	67.3%	A	
	c. 特定保健指導対象者の割合の減少率 25%【継続者】	22.5%	20.2%	26.3%	13.0%	C	
②脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	a. 脳血管疾患の総医療に占める割合 1.3%減少	10.1%	10.9%	11.5%	9.0%	A	健診受診者に対して、個別面接で保健指導を行い、現在の体の状態や食事、運動など生活習慣改善に向けて取り組めるよう支援しています。また、要受診勧奨者(高血圧・高血糖・脂質異常者等)で医療機関未受診の方、治療を中断している方、コントロールが不良な方に対して保健指導を行い、重症化すると高額費用になる疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患、人工透析など)の発症・重症化を予防するために支援しています。
	b. 虚血性心疾患の総医療費に占める割合 1.6%減少	17.0%	16.5%	17.3%	15.3%	A	
	c. 人工透析導入者の総医療に占める割合 0.3%減少	5.3%	6.1%	5.4%	4.3%	A	
③脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	a. メタボリックシンドローム該当者の割合の減少	17.2%	17.5%	18.5%	20.3%	C	健診受診結果から、特定保健指導者、要受診者(随時血糖126mg/dl、HbA1c6.5以上、血圧160/100以上、LDL180以上、中性脂肪300以上等)、に対して保健指導、医療機関への受診勧奨を個別面接で行い、病気の発症・重症化が予防できるよう支援しています。 令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業を開始し、若い頃から切れ目なく健康づくりや介護予防が行えるよう保健センターや包括支援センター医療専門職と国保係・後期高齢者医療係が連携して実施しています。
	b. メタボリックシンドローム予備軍の割合の減少	9.4%	9.8%	10.0%	11.7%	C	
	c. 健診受診者のⅡ度高血圧の割合の減少(160/100以上)	3.8%	4.1%	3.9%	4.3%	C	
	d. 健診受診者の脂質異常症者の割合の減少(LDL180以上)	2.0%	2.3%	3.7%	2.2%	C	
	e. 健診受診者の糖尿病の割合の減少(HbA1c6.5以上)	7.4%	7.2%	7.5%	8.9%	C	
	f. 糖尿病の未治療者(中断含む)の減少(対象：特定健診受診者 HbA1c：6.5以上～)	31.2%	30.1%	39.2%	35.3%	C	
	g. 糖尿病治療中のコントロール不良者の減少(対象：特定健診受診者 HbA1c：7.4以上～)	34.0%	45.1%	35.6%	36.4%	C	
④がんの早期発見・早期治療	a. がん検診受診率 胃がん 30%以上	2.9%	2.7%	2.9%	3.0%	B	検診の受診機会の拡充のため、日曜日の集団健診実施時に同時に実施しています。また、町ホームページ、町情報発信メール、広報きたがた、北方町くらしのカレンダーに検診日、受診期間等の情報発信をしています。
	b. がん検診受診率 肺がん 50%以上	10.3%	14.8%	14.2%	13.8%	B	
	c. がん検診受診率 大腸がん 30%以上	7.3%	6.6%	7.2%	7.5%	B	
	d. がん検診受診率 子宮がん 20%以上	14.0%	12.5%	12.4%	13.4%	B	
	e. がん検診受診率 乳がん 40%以上	21.9%	19.4%	19.5%	20.3%	B	
⑤自己の健康に関心を持つ住民が増える	a. 健康ポイントの取り組みを行う実施者の割合 1%以上	—	—	1.1%	1.2%	A	清流の国ぎふ健康ポイント事業に参加し、健康維持に関する意識の向上を図ります。
⑥後発医薬品の使用により、医療費の削減	a. 後発医薬品の使用割合 80%以上	70.0%	70.4%	76.8%	77.7%	A	後発医薬品切替促進通知を年2回対象者へ発送しています。また、啓発シールを保険証更新時に同封しています。

図表5：今後の事業の取組・見直し

評価 A：改善している B：変わらない C：悪化している D：評価困難

達成すべき目的	課題を解決するための目標	中間評価	今後の事業の取組・見直し
①医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により重症化予防対象者を減らす	a. 特定健診受診率 60%以上	B	現状の事業取組を継続して実施します。 はがき勧奨の、対象年齢範囲を拡充します。
	b. 特定保健指導終了率 70%以上	A	
	c. 特定保健指導対象者の割合の減少率 25%【継続者】	C	
②脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	a. 脳血管疾患の総医療に占める割合 1.3%減少	A	現状の事業取組を継続して実施します。 最新の健康情報の把握に努め、指導、情報発信を行います。
	b. 虚血性心疾患の総医療費に占める割合 1.6%減少	A	
	c. 人工透析導入者の総医療に占める割合 0.3%減少	A	
③脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	a. メタボリックシンドローム該当者の割合の減少	C	現状の事業取組を継続して実施する。 最新の健康情報の把握に努め、指導、情報発信を行います。
	b. メタボリックシンドローム予備軍の割合の減少	C	
	c. 健診受診者のⅡ度高血圧の割合の減少（160/100以上）	C	
	d. 健診受診者の脂質異常症者の割合の減少（LDL180以上）	C	
	e. 健診受診者の糖尿病の割合の減少（HbA1c6.5以上）	C	
	f. 糖尿病の未治療者（中断含む）の減少（対象：特定健診受診者 HbA1c：6.5以上～）	C	
	g. 糖尿病治療中のコントロール不良者の減少（対象：特定健診受診者 HbA1c：7.4以上～）	C	
④がんの早期発見・早期治療	a. がん検診受診率 胃がん 30%以上	B	現状の事業取組を継続して実施します。 町民への情報提供や広報活動に努めます。
	b. がん検診受診率 肺がん 50%以上	B	
	c. がん検診受診率 大腸がん 30%以上	B	
	d. がん検診受診率 子宮がん 20%以上	B	
	e. がん検診受診率 乳がん 40%以上	B	
⑤自己の健康に関心を持つ住民が増える	a. 健康ポイントの取り組みを行う実施者の割合 1%以上	A	現状の事業取組を継続して実施します。 目標値を2%以上に変更します。
⑥後発医薬品の使用により、医療費の削減	a. 後発医薬品の使用割合 80%以上	A	現状の事業取組を継続して実施します。